

市民の声・ちまたのニュース

第1号

2017年11月26日
日本共産党根室市委員会
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

つたに刊行

九月十日行われた市議会議員選挙の結果、共産党市議団は市民の期待に十分応えることが出来ず、前期までの三議席から一議席という結果になりました。三議席目をめざす立候補者を立てることができず市民の皆さんに本当に申し訳ない結果となりました。

二人の議員が力を合わせ今後の四年間、全力で頑張る決意ですが、市政はもちろんですが、まちづくり全般に全ての責任を果たすのは容易なことではありません。

次の市議会議員選挙で必ず三議席を取り戻すためにも、議員以外の後援会員の皆さん、党員の皆さん、支援して下さる市民の皆さんのサポート(応援)がなによりも必要です。

市議団ニュースの発行も二人の議員で、一週に一回発行というその負担等も考え、議員の眼からだけではなく、一般市民の目線からの声なき声、巷(ちまた)での話題などを月に一回程度「このニュース」の形で届けることにしたいと思います。読者の皆さんからの投稿などもぜひお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。



編集責任者

神

忠志

小旅行で考えたこと

私事ですが、筆者(神忠志)は四十年にわたる議員生活を引退させてもらい、ようやく多少の時間的な余裕が出来ました。

そのため、家庭的に来年是非ともやらなければならぬ事が二つ三つあるので、11月8日から11月15日にわたり、名古屋、千葉、東京、埼玉などへ小旅行に出かけることができました。

11月12日(日)に東京上野の「東京国立博物館」平成館での「史上最大」といわれる運慶展を見ることにしました。

運慶は平安末期から鎌倉初期にかけて活躍した稀代の仏師とされていますが、その仏像彫刻の迫力、筋肉や血管の細かな彫刻に圧倒されました。

さすが運慶展だけに、私自身、朝8時35分に国立博物館に到着しましたが、当日券売り場への百人以上の行列、チケットを手にしてから入場まで数百人の行列待ちを初めて体験、入場するまで

1時間以上も唯々待つという経験をさせてもらいました。



さらに、飛行機3路線、新幹線1路線での旅行中地元の書店で買った「日本史の内幕―戦国女性の素顔から幕末近代の謎まで」という書籍をゆっくり読む時間ができました。

この書籍は、テレビのBSプレミアム「英雄たちの選択」でレギュラーゲストをつとめる歴史学者の磯田道史氏による「古文書の達人による歴史の裏側を教えます」とう内容のもです。

平和と経済も文化も

この本の中で、磯田先生は、全人類の中で日本人が何%を占めてきたかある学者の推計をもとに述べています。全世界のなかで日本人が一番多くを占めていたのは、江

戸時代とされています。世界有数の経済発展の時代。また、現在日本の出版物が充実しているのは世界にも例がないほどだとし、江戸の日本は世界一の書物の国であったと述べています。頼山陽の「日本外史」などは日本と世界の情勢を分析した理論書。この書物などが世界の動きから日本という国のあり方を考える大きな役割を果たしたのではないかとしています。さらに、こんな硬い書物だけでなく、黄表紙大人向けの書物も今でいう成人向け雑誌など、人情本、滑稽本などなど。今風に言えば、風俗情報誌ともいうような「吾原細見」というのは人気の本であったと言われています。

江戸の世が世界的にもまれにみる経済的な発展「や世界に冠たる書物の国」で武士階級だけでなく、庶民が広く書物を通して知識を持っていたのは、何ととっても江戸時代が争いごと、戦争がない時代が長く続いたたまものであると考えさせられる小旅行となりました。